

2025年度（令和7年度）活動報告

（2025年4月1日～2026年3月31日）

特定非営利活動法人 ひとまちつなぎ石狩

I 市民活動情報センター事業の成果

施設の利用目的や活動内容についてより多くの方に理解していただくことを目指し、誰もが気軽に来館できる環境づくりに取り組んできました。その一環として、健康づくりや交流を目的とした講座・体験イベントなど、さまざまな事業を企画・実施し、来館のきっかけづくりを進めてまいりました。これらの取り組みにより、初めて来館される方や、これまで利用の機会が少なかった方にも足を運んでいただくことができ、利用者層の広がりにつながりました。その結果、年間の利用者数は12,142人となり、昨年度と比較して350人の増加となりました。この利用者数の増加は、イベントや講座を通じて施設の魅力や役割が徐々に浸透し、地域における交流・活動の場としての認知が高まってきた成果であると考えています。また、石狩市より「国勢調査オンライン回答推進業務」を委託され、ぽぽらーと内で周知を行うとともに、約1か月にわたり回答支援サービスを実施した結果、24名の利用がありました。

今後も、利用者のニーズや地域の状況を踏まえながら、内容の充実した事業の展開に努めるとともに、発信方法を工夫しながら、より多くの方に親しまれる施設づくりを進めてまいります。

リニューアル後

年 度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
来館者数	14,201	13,896	14,332	7,121	7,040	8,572	10,448	11,792	12,142
開館日	306	304	291	281	246	265	259	266	264
1時間当人数	5.8	5.71	6.16	3.17	3.58	4.62	5.76	6.33	6.57

備品貸出

近年、地域活動の担い手不足により、市民活動や町内会活動では規模の縮小や解散といった声も聞かれるようになってきました。これに伴い、地域イベントの開催数が減少し、印刷機の利用も低下傾向が見られています。こうした状況を踏まえ、事業収入の減少を考慮するとともに、市民活動を支援する新たな取り組みとして、昨年3月より印刷・製本サービスを開始しました。本年度は4件の申し込みがあり、来年度の利用を検討したいとのお問い合わせも数件寄せられるなど、一定のニーズがあることを確認できました。一方、白黒コピー機の利用については引き続き順調に推移しています。利用者からは「使い方が分からなくてもスタッフが丁寧に対応してくれるため安心して利用できる」といった声が寄せられ、サポート体制への評価が高い結果となりました。パソコンの利用については全体として減少傾向にあるものの、毎月数件の利用があり、「自宅のパソコンやプリンターが急に使えなくなった際に助かる」といった声も寄せられており、一定の需要が継続している状況です。

今後も、市民活動の活性化を目指し、利用者がより使いやすいサービスを提供できるよう工夫を重ねるとともに、地域のニーズを的確に把握し、状況に応じた柔軟な対応に努めてまいります。

講座・イベント

昨年度に引き続き、健康意識の高いアクティブシニア層に着目し、「アクティブシニアのためのトレーニング連続講座」を開催しました。本講座では、昨年度特に反響の大きかった筋力トレーニングやボイトレニングを中心に、身体の不調を軽減し、健やかな毎日を過ごしていただくことを目的とした内容で開催しました。参加者からは「無理なく取り組める」「日常生活に役立つ」といった声が寄せられ、好評を得ることができました。

また、市民図書館と共に実施してきた中古本リサイクル市については、人手不足等の理由から一度は開催を見送ることとなりましたが、利用者から再開を望む声が多く寄せられていました。こうした声を受け、多くの団体の協力のもと、4年ぶりに開催を再開することができました。今後は、2年に1度の定期開催を予定しています。このほか、「まちフェスいしかり」をはじめとする各種イベントは恒例行事として定着し、回を重ねるごとに認知度が高まっています。地域の方々に楽しみにしていただけるイベントへと成長しており、来場者数の安定にもつながっています。

今後も、参加者のニーズを踏まえながら、学びや交流の機会を提供するとともに、地域の皆さまが充実した時間を過ごせる講座・イベントの企画・運営に努めてまいります。

講座・イベント名	日 程	参加者数	内 容
① アクティブシニアのためのトレーニング連続講座 ボイトレ編 みんなで歌って 誤嚥予防 講師：石尾 真弓さん	6月 3日㊦ 6月 26日㊦	16人 12人	加齢に伴う嚥下機能の低下を抑え、誤嚥を予防することを目的として開催した。喉を鍛えることの大切さを学び、発声練習や舌のマッサージを実践したほか、懐かしい歌を歌いながら楽しみながら喉を動かした。無理なく取り組める内容で、心身の健康づくりにつながる有意義な時間となり好評だった。
② アクティブシニアのためのトレーニング連続講座 筋トレ編 講師：菅野 朱美さん	6月 20日㊦ 7月 4日㊦	17人 13人	筋肉は年齢を問わず鍛えることができる「かけがえのない財産」であるという考えのもと、楽しみながら運動習慣を身につけ、健康な体づくりを目的として開催した。ストレッチや正しい歩き方の確認、家庭でも継続しやすい運動に取り組んだほか、盆踊りやリズムダンスも行い、楽しく体を動かした。最後に、無理なく運動を続けることの大切さについて説明があった。

③ 中古本リサイクル市 リターンズ サマーブックマーチ 石狩市民図書館と共催	8月 9日㊥	多数	4年ぶりに開催。提供本の受付場所を各分館も可能にしたことから本の集まりも多かった。当日は多くの来場者が訪れ、会場は大変にぎわった。開催にあたっては、本の提供をはじめ、運搬や分類など準備段階から多くの協力をいただいた。また、当日来場できなかった方への取り組みとして、文庫本を中心とした「小さな中古本リサイクル市」をぽぽらーとで実施し、好評を得た。収益については、書籍を石狩市へ寄贈した。
④ 中古本リサイクル市 リターンズ 同時開催 布の絵本とおもちゃで 遊ぼう 北海道市民活動促進センター 「公募企画講座」助成金活用	8月 9日㊥	22人	中古本リサイクル市と同時開催で、市民図書館のボランティアサークル「布の絵本にじ」の手作りの絵本やおもちゃの展示を開催した。また、「子育て支援ワーカーズぽけっとママ」による見守り保育も行い、小さな子ども連れでも安心して参加できる環境を整えた。布製の絵本やおもちゃは好評で、親子で楽しめる交流の場となった。
⑤ 中古本リサイクル市 リターンズ 同時開催 終活のプロによる 老後準備のすすめ 講師：松尾 拓也さん 北海道市民活動促進センター 「公募企画講座」助成金活用	8月 9日㊥	32人	中古本リサイクル市と同時開催で、午後からは『「おふたりさまの老後」は準備が10割』の著者を講師に迎え、講演会を開催した。相続や公正証書遺言、家族信託について分かりやすく解説いただき、参加者は熱心に聞き入っていた。講演終了後には個別相談の時間も設け、専門家へ直接相談できる機会となった。
⑥ まちフェスイしかり	11月16日㊦	多数	ぽぽらーとを休憩所およびスタンプラリー（ミニ縁日参加券）販売所として開放した。来場者の要望を受け、冷たい飲み物を含め11種類の飲み物を提供した。2階のぽぽらーとブースでは射的、ヨーヨー釣り、ガラポンくじなどのミニ縁日を開催し、多くの子どもたちでにぎわった。子ども限定の企画であったが、大人からも参加を希望する声が寄せられるなど好評であった。

⑦ 師走の地産地消フェア	12月 1 日㊿ ～ 12月 18 日㊿	多数	農業女性グループ「サークルスタディ」が丹精込めて育てた「ななつぼし」の稲穂を使用した、地元の素材を活かした環境に優しいお正月用リースを紹介した。また、石狩産の冬野菜や村田花園のシクラメンも紹介し、地元製品の魅力や季節感を楽しんでいただく機会となった。
⑧ アップサイクル展	12月 1 日㊿ ～ 12月 12 日㊿	多数	着物や生地を活用し、新たな価値を持つ作品へと再生した「アップサイクル」作品の展示会を開催した。参加団体は「光子の部屋」と「M's リメイク」。また、ぶどうの蔓やニオイヒバ、松ぼっくりなど自然素材を使ったクリスマスリース制作体験も実施し、多くの参加者でにぎわった。
⑨ NPO団体の交流会	2月 20 日㊿	10 人	石狩市内で活動する NPO 団体同士の交流と連携強化を目的に交流会を開催した。各団体が近況報告や課題について意見交換を行い、LINE を活用した新たな連絡ツールの共有など、団体間のつながりを深める機会となった。また、新規参加団体からも他団体の活動を知る有意義な機会となったとの声が寄せられた。

相談業務

スマホの使い方、家庭菜園、市民活動に関する相談を受け付け、多様なニーズに応える場となっています。これらの活動を通じ、地域の皆様の交流と学びの場を提供し、今後もより一層充実したサービスを提供してまいります。

カフェスペース

地域の皆さまが気軽に集い、くつろいでいただける場として活用されています。年間を通じて、団体での打ち合わせやサークル活動などの終了後に、参加者が気軽に集まり談笑する場としても広く親しまれています。また、お一人でゆったりと過ごす方も多く、利用者にとって心地よい空間となっています。さらに、地産地消コーナーで紹介している地域のお菓子やパンを楽しみながらコーヒーを味わう利用者が増えており、地域産品を知っていただくきっかけとしても一定の役割を果たしています。今後も、より居心地の良い空間づくりを目指して運営を継続してまいります。

展示コーナー

四季折々の展示会を開催することができました。展示会を目的に訪れる方々も多く、来館のきっかけとなっています。展示物があることで華やかで温かみがあり、来館された皆様に楽しんでいただける場となっています。

展示イベント名	日 程	作 者
場崎 恵 展示会 はまなすの丘公園風景スケッチ	4月1日㊦ ～ 4月30日㊦	場崎 恵
手作り絵本の会 HOHOEMI 春 作品展	5月16日㊤ ～ 5月30日㊤	手作り絵本の会 HOHOEMI
杉山 徳司 書道展	10月6日㊦ ～ 10月21日㊦	杉山 徳司
手作り絵本の会 HOHOEMI 冬 作品展	11月21日㊤ ～ 12月12日㊤	手作り絵本の会 HOHOEMI

図書事業

石狩市民図書館における予約本受け取りサービスは、昨年度に引き続き安定した利用が見られ、今年度も好調を維持しました。利用者数は延べ2,654人、予約冊数は昨年より858冊増加し5,156冊、地域の読書の機会を支えるサービスとして定着しています。当センターを経由した受け取りが利用者の利便性向上につながっており、図書館サービスの地域への広がりにも寄与しています。

また、4年ぶりに石狩市民図書館と共催で「中古本リサイクル市」を開催しました。市民の皆さまから多くの本をご提供いただき、当日も多くの方にご来場いただきました。準備作業では、本の運搬や仕分けにおいて、石狩市公務サービス株式会社および社会福祉法人石狩市社会福祉協議会の皆さまにご協力いただき、円滑に進めることができました。その結果、収益により市民図書館へ52冊の本を寄贈することができました。本が次の読み手へ受け継がれ、その循環が地域に還元され、意義のある取り組みとなりました。

さらに、今年度も「雑誌購入スポンサー制度」を活用し、「北海道じゃらん」と「文藝春秋」2誌の契約を更新しました。これらの雑誌には当法人の事業広告を掲載しており、地域の方々に向けた広報活動の一環としても機能し、当法人の活動を知っていただく機会にもつながっています。

今後も市民図書館との連携を大切に、地域の皆さまにとって身近に利用できる拠点とし役立てていただけるよう努めてまいります。

広報業務

「ぽぽらーと通信」は年に6回発行し、情報センターをはじめ10カ所に設置。さらに、あい・ボード（33カ所）にも掲示しています。また、ひとまち会員や石狩市のNPO法人、市民活動団体など、約110通を郵送しました。臨時号は各町内会宛にも発行しました。

発行枚数は、通常号が平均約500枚、臨時号は2,400枚。発行内容は以下の通りです

号 数	内 容
第101号	印刷・製本サービスははじめました！のお知らせ、季節を楽しむ地産地消講座の予告、石狩落花生研究会会員募集、石狩落花生研究会10周年記念落花生まつり～石狩産落花生で鬼退治～の報告、NPO法人団体交流会の報告、展示コーナーの報告、助成金情報
第102号	アクティブシニアのためのトレーニング連続講座の予告（ボイトレ・筋トレ編）、中古本リサイクル市リターンズ サマーブックマーチの読まなくなった本の提供のお願い、季節を楽しむ地産地消講座の報告、助成金情報
第103号	中古本リサイクル市リターンズ サマーブックマーチ、布の絵本で遊ぼう！の予告、元気なうちに聞いておこう！終活のプロによる老後準備のすすめの予告 アクティブシニアのためのトレーニング連続講座（ボイトレ・筋トレ編）の報告、展示コーナーの報告、助成金情報
第104号	第6回まちフェスいしかりの予告、臨時休館のお知らせ、中古本リサイクル市リターンズ サマーブックマーチ、布の絵本で遊ぼう！、元気なうちに聞いておこう終活のプロによる老後準備のすすめの報告、第15回体験自然エネルギー教室の報告、小さな中古本リサイクル市の報告、助成金情報
第105号	師走の地産地消フェアの予告、臨時休館のお知らせ、石狩市民図書館へ寄贈の報告、国勢調査オンライン回答支援ブース設置の報告、石狩市冬季避難所体験訓練の報告、展示コーナーの報告、助成金情報
第106号	石狩産落花生で鬼退治の予告、NPO 団体の交流会の予告、第6回まちフェスいしかりの報告、師走の地産地消フェアの報告、展示コーナーの報告、ワークショップの報告
臨時号	総会シーズン印刷予約受付中！のお知らせ、印刷製本サービス始めました！ぽぽらーとの機能紹介、3月・4月・5月のカレンダー

Ⅱ 市民活動支援事業

地域活動や町内会における担い手不足が課題となる中、少しでも運営負担の軽減につなげたいとの思いから、昨年3月より総会資料などの「印刷・製本サービス」を開始しました。本サービスについては、町内会関係者の利用を促すため、例年より早い時期に町内会回覧用の「ぽぽらーと通信臨時号」にて周知を行いました。その結果、多くのお問い合わせをいただき、実際の利用にもつながるなど、一定のニーズがあることを確認できました。町内会運営に不安や負担を抱える方々に対して、印刷・製本作業を代行することで、運営に伴う事務負担の軽減に寄与できたものと考えています。今後も地域の皆さまの声やニーズに耳を傾けながら、町内会運営や市民活動を支えるサービスの充実を図り、より利用しやすく、身近に感じていただける事業運営に努めてまいります。

講座・イベント

4つのイベントを共催し、2つの講座には協力という形で参加しました。

講座・イベント名	日 程	参加人数	内 容
① 第15回 体験自然エネルギー教室 見て作って学んで 自然エネルギーを身近に感じよう！ NPO法人北海道グリーンファンドと共催	7月26日㊤	59人	保護者と小学1～4年生を対象に、風力発電について学ぶ体験講座を開催した。風力発電の仕組みを学んだ後、風車「かなみちゃん」の見学を行い、通常は立ち入ることのできないタワー内部を見学した。さらに、ペットボトルを使ったLEDライト付きミニ風車づくりにも取り組み、楽しみながら再生可能エネルギーへの理解を深める機会となった。
② 石狩市民図書館こども司書養成講座 社会教育課・市民図書館主催の事業に協力	8月 7日㊤	18人	「石狩食材でカレーづくり」に講師協力を行った。石狩産の食材を使用した調理実習を通して、子どもたちに地域の食材の魅力を伝える機会となった。
③ 第6回まちフェスいしかり まちフェスいしかり実行委員会と共催	11月16日㊤	多数	石狩の魅力をPRする地域交流イベントを開催した。会場ではキッチンカーやハンドメイド作品の販売、野菜の詰め放題、アップサイクル品の展示販売など多彩なブースが並んだ。また、楽器演奏やダンスのステージ発表、そば打ち体験など参加型企画も実施し、多くの来場者でにぎわった。最後には石狩市の特産品が当たる抽選会を行い、地域交流を深める機会となった。

④ 大人の図書館 J A Z Z N I G H T 社会教育課と市民図書館主催の事業に協力	11月16日㊤	多数	石狩落花生研究会による茹で落花生の提供を行った。石狩産落花生の魅力を来場者へ広くPRする機会となり、参加者からも好評を得た。
⑤ 石狩市冬季避難所体験訓練 石狩市危機管理課と共催	11月8日㊤	多数	体験訓練の炊き出しコーナーを担当し、避難所で使用する大鍋や炊き出し釜を用いて調理を行った。石狩産の米や野菜、望来豚、トマチャを使用した「地産カレー」を来場者へ提供し、災害時の炊き出し体験とともに地元食材の魅力を伝える機会となった。また、カレー皿は紙を使って作成し、防災意識を高める機会となった。
⑥ 石狩産落花生で鬼退治 石狩落花生研究会と共催。	1月31日㊤	多数	日本の伝統行事である豆まきと石狩産落花生のPRを目的とした体験型イベントを開催した。石狩産落花生を使用した豆まきや抽選会、菓子の試食などを実施し、多くの来場者でにぎわった。楽しみながら地域特産品への理解を深める機会となった。

いしかり魅力発見！地産地消コーナー

地域のNPO団体や福祉団体、農家、作家の方々の協力を得て、地域で生まれた品々の紹介を行いました。物価高騰が続く中においても、価格を抑えて提供することで、多くの方に気軽に利用していただいています。特に、丁寧に育てられた野菜はその味の良さが好評で、購入した食材をより楽しんでいただけるよう、簡単なレシピの提案も行いました。こうした工夫により、リピーターの増加にもつながっています。今後も、地域の担い手と来館者をつなぐ取り組みを通して、地域の魅力発信と交流の促進に努めてまいります。

地産地消紹介コーナーの取扱いは以下のとおりです

野 菜 … 須藤農園、後藤農園、藤岡農園、出塚農園、加藤農園（厚田）、中田農園
はるきちオーガニックファーム、石狩落花生研究会、みのりファーム、越後農園
勝田農園 蒼き羊飼いうール

花 … 大村花き園、小笠原農園、村田花園

苗 … 藤岡農園、小林花園、勝田農園

加 工 品 … レラ・もうらい、高岡施設園芸生産組合、はまなす館、ラ・ターブルベール
蒼き羊飼いうール 石狩シェアハピシティ計画 

- 菓子 … パン菓子工房バーケリー、ベーカリーショップこむぎっこ、NPO法人やすみや
和洋菓子のなかむら、ジェルメ・まるしえ、サムリブ、みのりファーム
石狩落花生研究会、農家ふえエリー's
- 手作り品 … 安藤牧子、サークルスタディ、ひびけこだま会、石狩市郷土研究会
アミーケインターナショナル、石狩落花生研究会、Ryo litsuka
竹田美喜子、場崎恵、

Ⅲ地産地消事業・事業の成果

いしかり食と農の未来づくり推進委員会として

推進委員会は、3事業（いしかり地産地消の店、いしかり食と農のカレッジ、いしかりグリーンツーリズム）と下記の2事業を合わせて推進委員会事業として、石狩市とともに進めています。

委員会の構成は9団体の代表が集まり、代表を当法人が務めています。なお会計事務も当法人が行っております。

この2事業は、当法人の地産地消事業として位置付けされ、市民の参加を中心として長年取り組んでいます。応援隊事業のメイン活動である石狩落花生研究会は農協や福祉事業所との連携もあり、地域にとっての農産物として「北海道・地域産業資源」として、認められ、益々の期待をされるどころです。

■いしかり食と農の未来づくり推進委員会

いしかり食と農の未来づくり事業 インスタ

https://www.instagram.com/ishikari_food_agriculture/



1 季節を楽しむ地産地消講座事業

活動詳細記録は別紙（議案書に同封）

2 いしかり食と農の応援隊事業

活動詳細記録は別紙（議案書に同封）

石狩落花生研究会 ホームページ

<https://ishikari.hp.peraichi.com/rakkasei>



V法人報告

- ① 5月 8日（木） 2025年度 第1回 理事会
2024年 決算報告、活動報告、2025年活動方針
- ② 5月30日（金） 2025年度 第21回 通常総会
- ③ 7月23日（木） 2025年度 第2回 理事会
落花生研究会関連会社設立の件
- ④ 3月19日（木） 2025年度 第3回 理事会
2025年度 賃金規程について
就業規則第5条に沿って定める事務局体制について
その他 報告 今年度の決算状況について、会計監査日程、第22回総会日程